

令和8年度 高冷地水稻生育速報(第5報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月31日調査)

調査日	年度	草 丈 (cm)	茎 数 (本/㎡)	葉 色		葉 齢	出穂期
				葉色板	SPAD値		
たかやまもち	本年	-	-	-	-	-	出穂期:7月21日
	前年	-	-	-	-	-	(前年:7月22日)
	平年	-	-	-	-	-	(平年:7月23日)
あきたこまち	本年	-	-	-	-	-	出穂期:7月22日
	前年	-	-	-	-	-	(前年:7月22日)
	平年	-	-	-	-	-	(平年:7月24日)
ひだほまれ	本年	-	-	-	-	-	出穂期:7月25日
	前年	-	-	-	-	-	(前年:7月26日)
	平年	-	-	-	-	-	(平年:7月28日)
ひとめぼれ	本年	-	-	-	-	-	出穂期:7月25日
	前年	-	-	-	-	-	(前年:7月30日)
	平年	-	-	-	-	-	(平年:7月29日)
コシヒカリ	本年	-	-	-	-	-	出穂期:7月25日
	前年	103.9	460	36.6	13.0	3.8	(前年:8月2日)
	平年	-	-	-	-	-	(平年:8月1日)

栽培条件: 移植5月15日 栽植密度22.2株/㎡ 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a 穂肥N=0.3kg/a

平 年 値 : 過去5年間(R3年～R7年)の平均値
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

- 1)気象概況
7月下旬の平均気温は平年より高く、日照時間は平年より多かった。
- 2)生育概況
出穂期は平年に比べて2～7日早くなっている。
- 3)病害虫等の発生状況
当所ほ場においては、いもち病の発生はみられない。
- 4)今後の管理
出穂～開花期は稲が最も水を必要とするする時期であり、出穂～開花期は湛水管理を行う。開花期以降は飽水管理を行い、地温の上昇を抑える。また、葉いもち病の発生が見られる圃場は穂いもち病への移行を防ぐため防除を検討する。7/22に斑点米カメムシ類の注意報が発令されているため、適期に防除を行う。特に本年は各品種出穂が平年に比べて早いいため、AgriLookや目視で生育の確認を行い、各作業の適期を逃さないよう注意する。

令和8年(2026年)の気象図

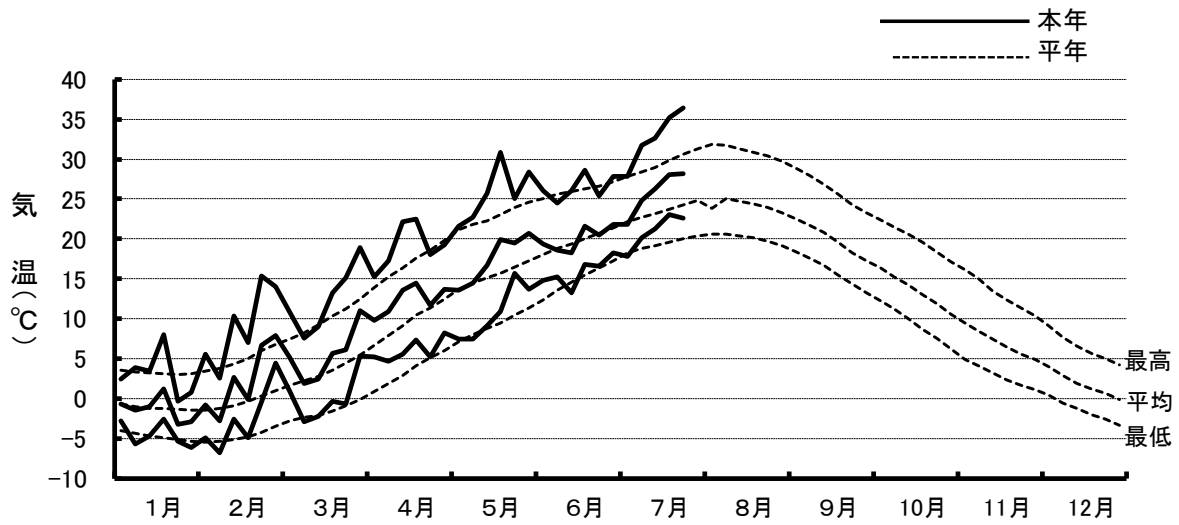


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

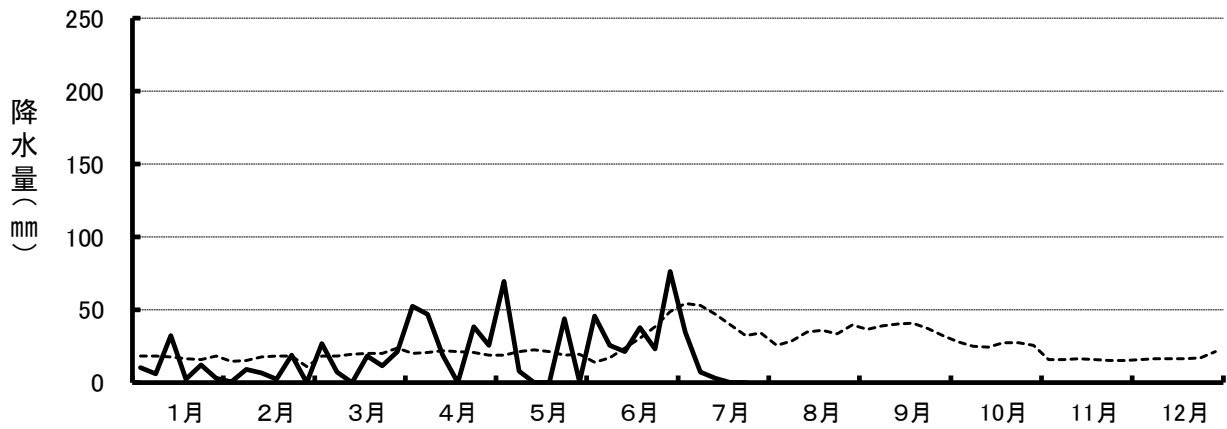


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

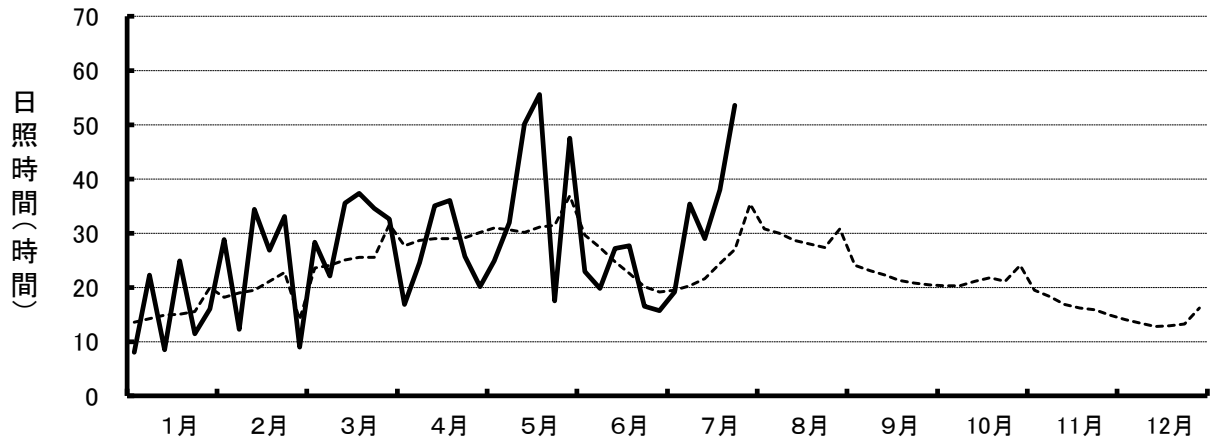


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)

データ: 高山特別地域気象観測所